

香港では、その日までの、引き算の日々が始まっている。

ヘンリー・黄は何語で泣けばいいのか。



JOHN LONE

SHADOW of CHINA

ジョン・ローン

佐藤浩市 サミディビス ピピアン・ウー

ローランド・ハラダ 3世 ロイ・チャイ ケネス・ウエン 高沢順子

チャイナシャドー

監督 柳町光男

エグゼクティブ・プロデューサー 井関 程 製作 エリオット・レイト、ドン・ゲスト 原作 西本正明 脚戯社文庫刊 スネークヘッド 功 脚本 リチャード・マックスウェル、柳町光男
撮影監督 トヨミチ・クリタ 美術 アンドリュー・マッカルハイン 音楽 清水清晃(ビクター インヒテーション) サウンド・デザイナー 紅谷 裕一 編集 山地早智子
1980年 S.H.プロダクション+エンタール・インテロ・プロダクション共同制作 日本ヘラルド映画、フジテレビジョン、日映研、サンライズ 共同制作 日本ヘラルド映画配給

KOICHI SATO

SAMMI DAVIS

VIVIAN WU

MARUBENI CORPORATION/NIPPON HERALD FILMS, INC./FUJI TELEVISION NETWORK, INC./NISSHO Iwai CORPORATION/SUNRISE INC.
PRESENT A NIPPON HERALD FILMS, INC. RELEASE/S.H. PRODUCTION & ELLIOTT LEWITT PRODUCTION A MITSUO YANAGIMACHI
FILM "SHADOW OF CHINA" Based on a novel by MASAOKI NISHIKI/Screenplay by RICHARD MAXWELL & MITSUO YANAGIMACHI/Edited by
SACHIKO YAMAJI Sound Designer KENICHI BENTANI Music by YASUAKI SHIMIZU/Production Designer ANDREW McALPINE Director of Photography
TOYOMICHI KURITA/Executive Producer SATORU ISEKI Produced by ELLIOTT LEWITT & DON GUEST Directed by MITSUO YANAGIMACHI

チャイナシャドー

■スタッフ

監督/柳町光男

エグゼクティブ・プロデューサー/井関 惺

製作/エリオット・ド・ン・ゲスト

原作/西木正明(講談社文庫刊「スネークヘッド」より)

脚本/リチャード・マックスウェル、柳町光男

撮影監督/トヨミチ・クリタ

美術/アンドリュー・マッカルバイン

音楽/清水靖晃(ビクター/インビテーション)

サウンド・デザイナー/紅谷 信

編集/山地早智子

■キャスト

ヘンリー・黄^{ワウ}/ジョン・ローン

北山アキラ/佐藤浩市

キャサリン/サミ・デビス

モンリン/ビビアン・ウー

小牛(シャオニュー)/ローランド・ハラ3世

李 克中/ロイ・チャオ

劉/ケネス・ツァン

■丸紅、日本ヘラルド映画、フジテレビ、日商岩井、サンライズ 共同製作 1990年/S.H.プロダクション+エリオット・ルイット・プロダクション作品

SHADOW of CHINA

日本映画が 初めて 世界に挑む

香港では、その日までの、引き算の日々が始まっている――。

来たるべき1997年の中国への返還を目前に控え、東洋と西洋の狭間で常に異彩を放ち続けている魔都・香港。この街で権力を極めようとした男がいた。だが自分も知らなかった過去によって、夢破れ愛も社会的地位も、そして自らのアイデンティティすら失ってしまう。

激動する1990年代の世界状況をシャープに見すえながら、すべてを失ってもなお懸命に生きようとする男のリリズムと哀愁を、日本映画界の屈指の実力派柳町光男監督が渾身の力をこめて描く。この作品は最初から世界市場に照準を合わせて作られた。そのテーマ性、異色俳優陣といい、多くの話題を集め、世界が最も注目している映画、それがこの「チャイナシャドー」である。



世界各国からの 才能が結集

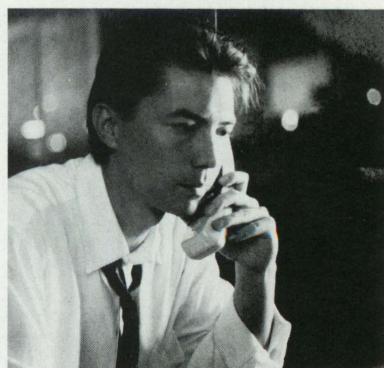
日本映画でありながら、国際マーケットを狙うにふさわしく、この作品はダイアログからすべて英語で書かれ、勿論本篇も英語バージョンで作られた。

スタッフ・キャストの国籍は日本、アメリカ、香港、カナダ、イギリス、オーストラリアの6ヶ国に及んでおり、ハリウッド映画でも例をみない規模をもった作品である。

主役のヘンリー・黄を演じるのは「ラストエンペラー」で名実共にトップスターの座を得たジョン・ローン。自らの過去とだぶらせ哀しみを内に秘めた主人公を好演している。相手役には、同じく「ラストエンペラー」で第二夫人を演じて注目を集めたビビアン・ウー、また日本からはジャーナリスト役で佐藤浩市が、その他イギリスからサミ・デビス、といった演技力のある若手の注目俳優が出演している。

スタッフには柳町監督の下、脚本にハリウッド百人の中から選ばれたリチャード・マックスウェル、撮影に「モダーンズ」などアメリカで活躍中のトヨミチ・クリタ、美術に「シド アンド ナンシー」のアンドリュー・マッカルバイン、全編を強烈な印象を残す音楽に、現在ヨーロッパを中心に活躍中のサクソ奏者清水靖晃など世界の才能が結集した。

製作は、日本からエグゼクティブ・プロデューサーとして「乱」の井関惺、アメリカから製作に「バリ、テキサス」のドン・ゲストとエリオット・ルイットが担当している。



時代を生きぬく 男がここにいる

国際都市・香港を舞台に、中国から逃れてきた元紅衛兵が、香港の裏社会と結びつきながら、実業家として成功を収め、そして政界をも掌中にしようとしていく。彼の名はヘンリー・黄。彼には一緒に香港に渡り、離れ離れになっていた恋人がいた。しかし彼女との13年振りの再会によって、彼の人生は大きな狂いを生じる。彼の素性をあばこうとする日本人ジャーナリスト、一時のデカダンな愛に溺れるイギリス富豪の妻、そして裏社会に君臨する男たちなどをからめて、時にミステリアスに、時にサスペンスフルに、時にロマンチックに描くスケールの大きな壮大人間ドラマ。

過去をひた隠しに隠しながら、愛と野望のために必死に生きる男の哀しくも雄々しい姿が胸を打つ感動大作である。

5月12日(土)よりロードショー!

●前売鑑賞券発売中! 一般1300円・学生1100円・ペア(お2人で)2300円

歌舞伎町・コマ劇場前

新宿アカデミー

03
(202)
0141